

令和 8 年度第 2 回運営推進会議報告内容

議題

① 入居状況について

入居状況

令和 8 年 7 月 1 日時点の入居者数

男性 2 名 女性 7 名 合計 9 名

平均年齢 85 歳 男性 76 歳 女性 87 歳

平均介護度 2.7 男性 3.5 女性 2.4

② ヒヤリハット、事故、苦情報告などについて

5 月（前回推進会議以降） 事故報告 1 件 ヒヤリハット 1 件

6 月 事故報告 3 件 ヒヤリハット 3 件

7 月 事故報告 1 件 ヒヤリハット 2 件

5/17 16:25 Y. K 様 女性 87 歳 ヒヤリハット報告

レクリエーションを行っていた際、入居者様が投げたゴムボール（約 20cm）が Y. K 様の顔に当たってしまいました。Y. K 様からは、目にゴミが入った感覚があるとの事で、何かあったら言いますとの事でした為、気に掛けながら様子を見る事としました。

顔の赤み、傷などは無く、眼鏡をかけておられる方でしたが、眼鏡の破損などもございませんでした。スタッフ 2 名で対応しておりましたが、咄嗟のアクシデントで対応ができませんでした。

5/27 15:05 H. H 様 女性 76 歳 事故報告

トイレから車椅子に移乗介助をしている際、H. H 様の左肘がトイレの手すりに当たってしまい、1 cm×1 cmの擦り傷ができてしまいました。消毒を行い、絆創膏を貼りました。身体を支える事にスタッフの意識が向いてしまい、手や足の位置の確認が不十分であった為、移乗介助時には手足の位置確認を十分に行っていく事としました。

6/3 14:28 H. H 様 女性 76 歳 事故報告

トイレから車椅子に移乗介助をしている際、H. H 様の手が動いてしまい、トイレの戸に左手甲をすってしまいました。左手甲 2 cm×1 cmの擦り傷があり、消毒を行いました。身体を支え車椅子へ移乗の際、H. H 様が不安からか、左手で、トイレの戸に掴まろうとされ、左手甲をすってしまったと思われました。可能な限りスタッフ 2 名で対応していく事とし、介助前の声かけを十分に行っ

ていく事、手の位置の確認、トイレの戸に緩衝材（発泡ポリエチレンシート）を付ける事としました。

6/8 19:30 M. K様 女性 82歳 ヒヤリハット報告

他入居者様で夕食を遅く召し上がられる方がおり、食事を台所に用意しましたが、他入居者様の対応を終えリビングに戻ると、M. K様がキッチン内でその食事（おかず数口）を召し上がっている所を発見しました。おかずは別のものを用意いたしました。キッチン内、手の届く所に食事を置いてしまった為、スタッフがその場を離れる時には、手や目の届きにくい棚に食事を用意する事としました。

6/17 19:25 M. K様 女性 82歳 事故報告

M. K様がリビング近くの廊下を歩行中、食事中だった他入居者様が急に立ち上がり、突進されM. K様と接触。接触のはずみで体勢を崩し、両膝をついてしまいました。

赤みや腫れなどは無く、直後の立位、歩行にも支障はありませんでしたが、膝を触ると痛みがあった為シップを貼り様子を見ました。

5分ほど経つと両膝をついてしまった事を忘れてしまい、その後は痛みや歩行の様子の変化も無く過ごされました。

食事中であった入居者様は、食事中に急に立ち上がり、歩き出したり走り出すことがあり、可能な限りで付き添い対応を行っておりますが、その入居者様を含め怪我に至らないよう、引き続き可能な限りの見守り、付き添いを行っていく事を周知いたしました。

6/18 19:00 T. H様 女性 87歳 ヒヤリハット報告

ベッドセンサーが鳴り、居室へ訪室するとベッド横で上靴を履かず尻もちをついて座っているところを発見しました。

直後のトイレ時、臀部付近を確認、赤み・傷等見られませんでした。T. H様へ事情をうかがうと「わからない」とのことでした。

上靴がお尻の下になっており、上靴が履けていなかったことから、靴下で滑り尻もちをついてしまった可能性がある為、ベッドから起き上がった際に見える壁に「靴をしっかりと履いてから歩き出して下さい」との注意書きを貼る事としました。

6/27 18:45 Y. K様 男性 74歳 ヒヤリハット報告

リビング内ベンチに横になられた後、ほどなくして転落されてしまいました。身体状況確認し、赤みや腫れ、痛みなどはございませんでした。

これまでも同様の事故を繰り返してしまっており、スタッフがリビングに居る

際には防げる事故の為、リビングベンチや玄関ロビー長椅子に横になってしまった際や横になっているところを発見した際には、直ぐに声かけし、ベッドに横になっていただくか、リビング席に座っていただく事を再周知いたしました。

6/30 14:30 H. H様 女性 76歳 事故報告

午睡後、ベッドから車椅子へ移乗した際、右手首から第1指つけ根にかけて内出血を発見致しました。自らの想いを表出する事が難しい方の為、手首を触り痛みがないかと右手に力が入るかを表情を見ながら確認しましたが、痛がる様子はございませんでした。

いつ、どこで怪我をされたかが不明の為スタッフ間で話し合い、トイレ介助の際、トイレ内にある手すりに手を差し込んでしまい、中々取れない時がある為、その際の痣ではないだろうかと推測しました。

また、トイレ介助の際、手すりやペーパーホルダーなどに掴んでいただくもすぐに手を外してしまわれ怪我のリスクが非常に高い為、移乗の際手の位置に配慮しながら、ゆっくり介助にあたるよう配慮することを再確認いたしました。

7/5 14:30 Y. K様 男性 74歳 事故報告

排泄介助の為トイレ誘導を行なった際、左眉尻に内出血と腫れを発見致しました。その他身体確認し怪我や腫れ、内出血などはございませんでした。

腫れの所を触れるが痛みはなく、様子を見させていただきました。リビングに起きていて、廊下等走り出した際には、必ずスタッフが駆け寄り介助しておりますが、居室ベッド上での様子は毎回確認ができておらず、どこかにぶつけての外傷ではないかと推測いたしました。ベッドセンサーは多い時で1~2分おきに30分以上作動する事がございますが、ベッドセンサー作動時には、可能な限り毎回状態確認の為、居室内訪室する事を再確認しました。

7/5 21:00 M. K様 女性 82歳 ヒヤリハット報告

他入居者様対応中、リビングよりガタンと物音が聞こえ、戻るとM. K様が、キッチンカウンターとテーブルの間に尻もちをつかれた状態でいるところを発見いたしました。声かけし立ち上がろうとする際に「痛たた」とのお言葉がございましたが、臀部周囲や他身体確認し赤みや腫れは見られず、歩行の様子もお変わりはありませんでした。

他入居者様対応の際お一人になってしまう事がありますが、眠気が見られる事も多くなり注意が必要の為、眠気の確認と椅子に座っていただくなど可能な限りの安全配慮を行っていく事を確認しました。

7/16 4:56 T. T様 女性 91歳 ヒヤリハット報告

ベッドセンサー起上検知あり、他者対応後に訪室するとベッド前で尻もちをつ

いておられたところを発見しました。トイレに行こうとした際に足を滑らせて尻もちをついてしまったとの事でしたが、幸いどこも痛みは無いとの事で、臀部周囲や他身体確認いたしましたが外傷、腫れ、熱感などはございませんでした。

T. T 様は事故前日より発熱、風邪症状あり居室で過ごされておりましたが、足元に注意が必要となっており様子を見ておりました。

介助を行う上で、対応の優先順位について確認し、より配慮が必要な順位での判断、対応が必要となる事を確認いたしました。